

【男女共同参画社会における研究者の育成・支援を考える】

「ワーク・ライフ・バランス」

工藤 保子

(笹川スポーツ財団)

SPORT FOR
**every
one**

ワーク・ライフ・バランスとは

- 「仕事と生活の調和」
- 平成19年12月 官民トップ会議※
「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章」
「仕事と生活の調和のための行動指針」
※経済界・労働界・関係省庁・地方公共団体
- 内閣府「仕事と生活の調和推進室」設置

なぜ今、ワーク・ライフ・バランスなのか

- 労働時間の二極化

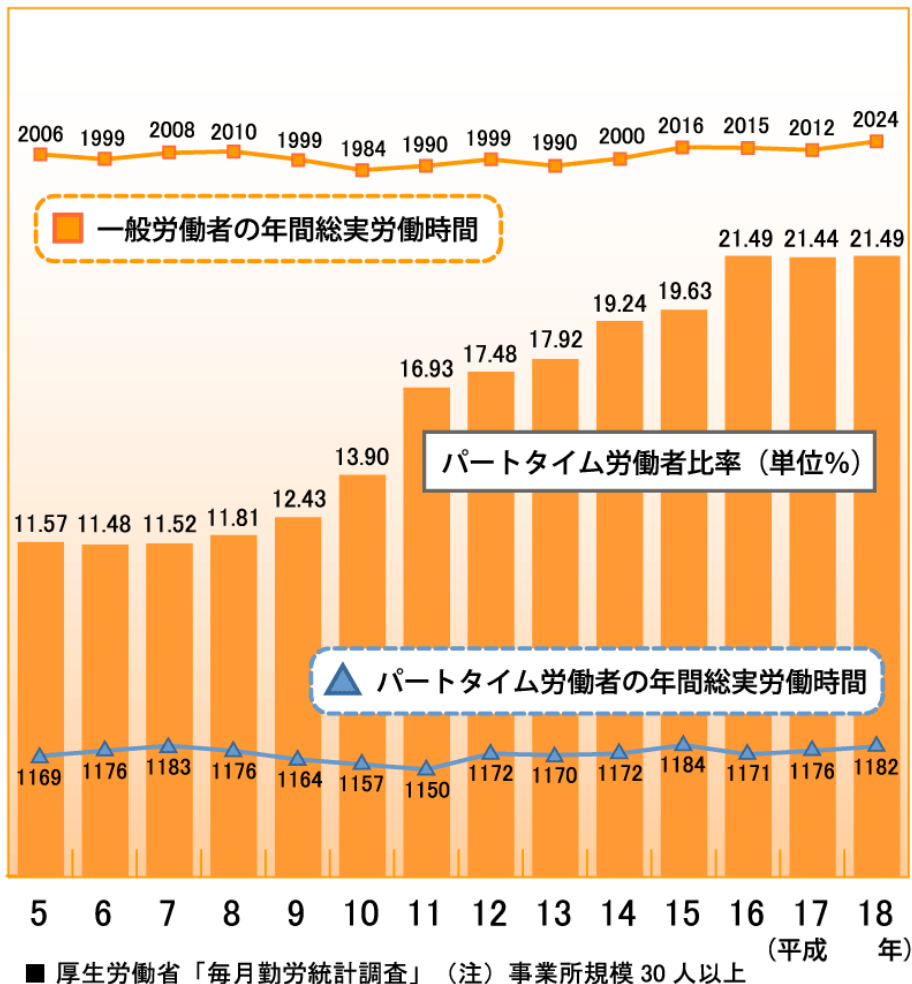
増えるパートタイム労働者(アルバイト・派遣社員)
正社員の年間総実労働時間→高止まり

- 共働き世代の増加と

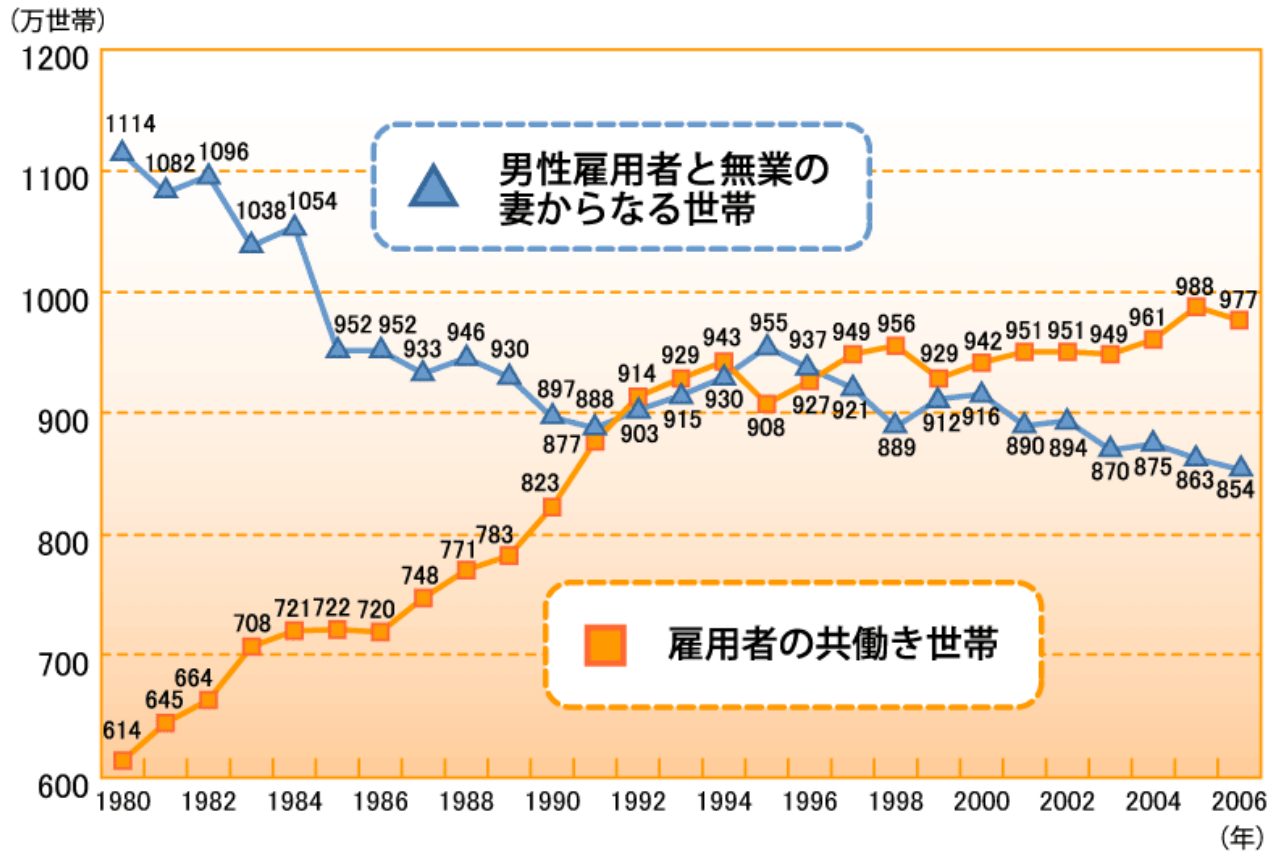
仕事と育児の二者択一

(特に女性)

就業形態別年間総実労働時間 パートタイム労働者比率の推移

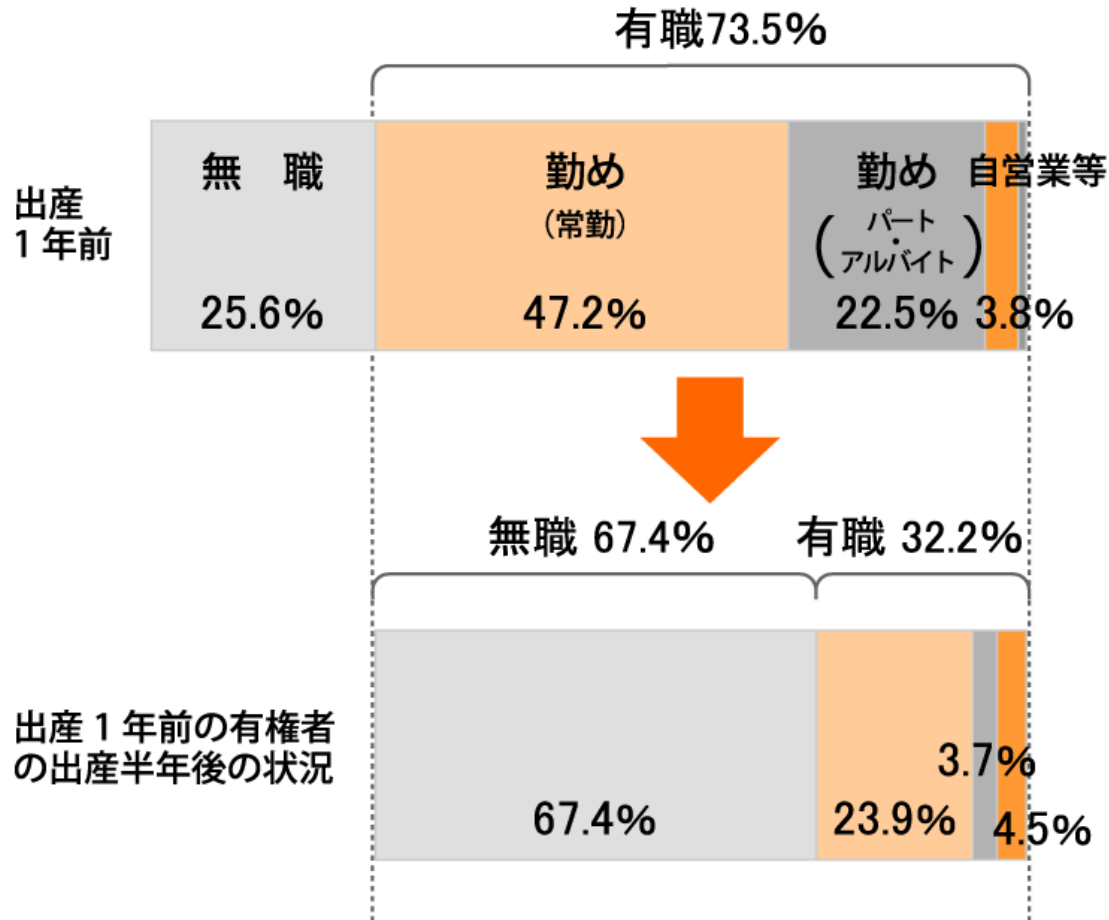


共働き世帯数の推移



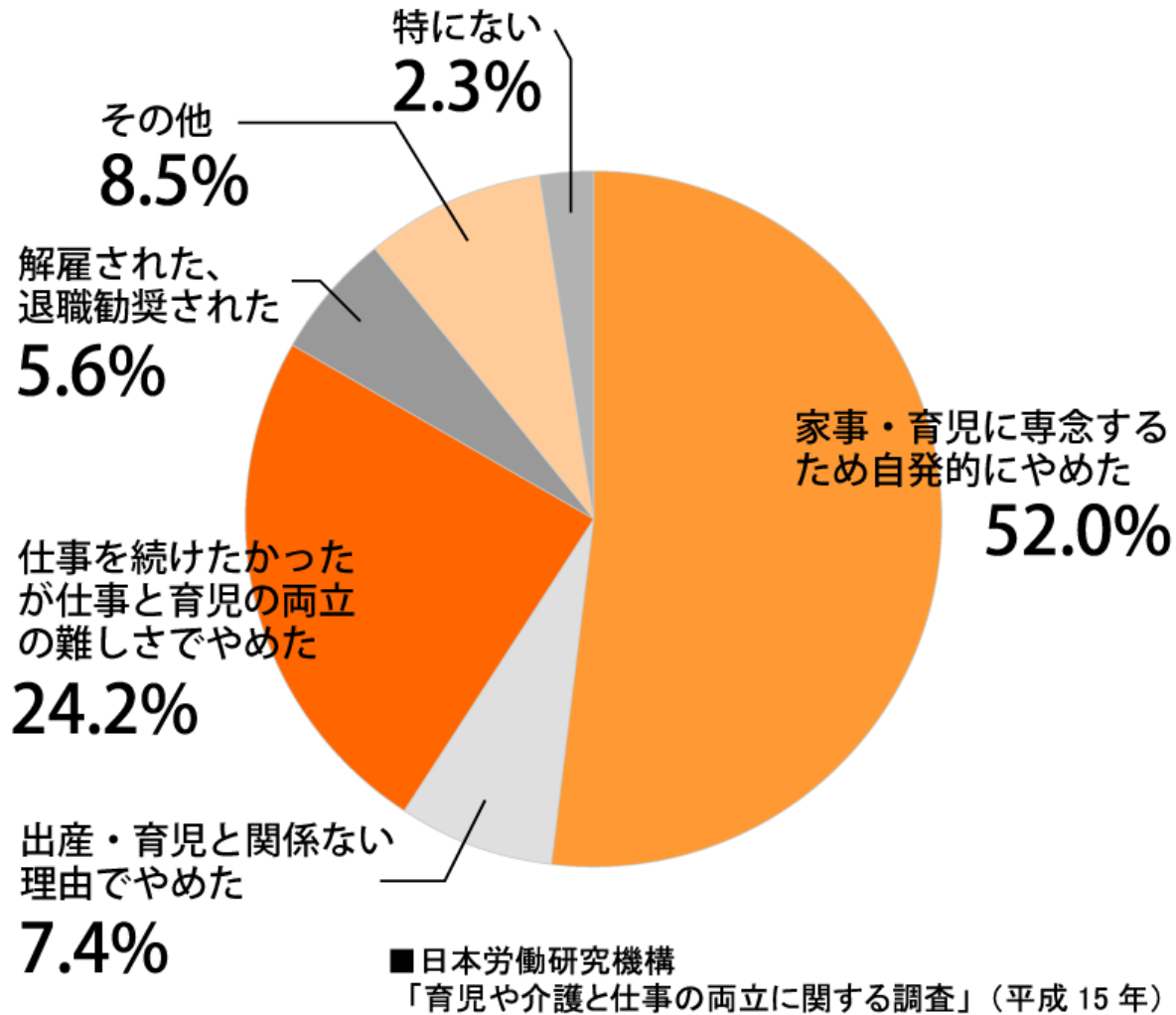
■ 昭和 55 年から平成 13 年は総務省「労働力調査特別調査」(各年 2 月、ただし、昭和 55 年から昭和 57 年は各年 3 月)、14 年以降は「労働力調査 (詳細結果)」(年平均)より作成。

第1子出産前後の女性の就業状況



■ 厚生労働省「第1回21世紀出生児縦断調査結果」(平成14年)

仕事をやめた理由



「仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス)憲章」

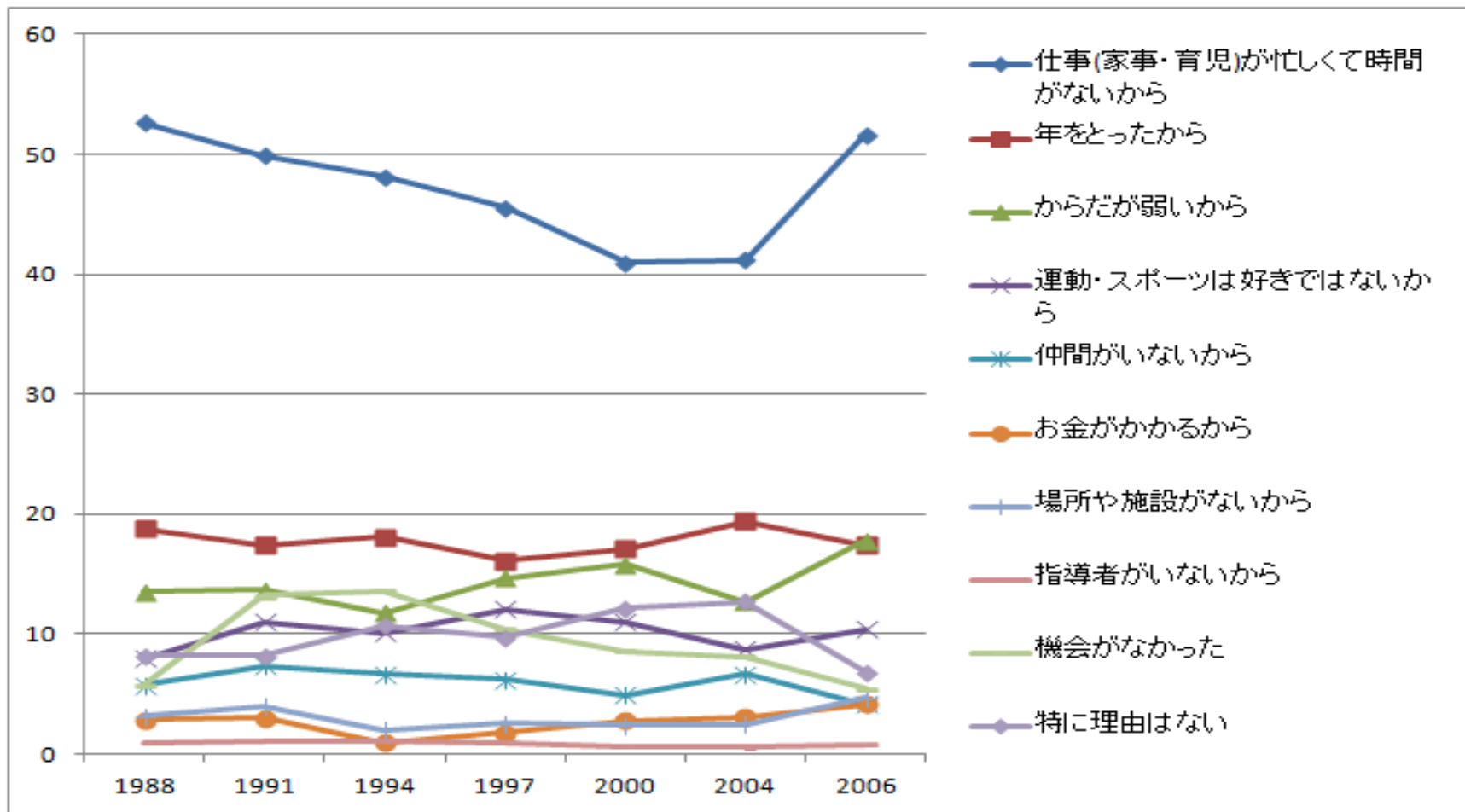
【実現した社会とは】

国民一人ひとりが**やりがい**や**充実感**を感じながら働き、**仕事**上の責任を果たすとともに、**家庭**や**地域生活**などにおいても、**子育て期**、**中高年期**といった人生の各段階に応じて多様な生き方が**選択・実現**できる社会

仕事と生活(運動・スポーツ)の調和

～運動・スポーツを行わなかった理由～

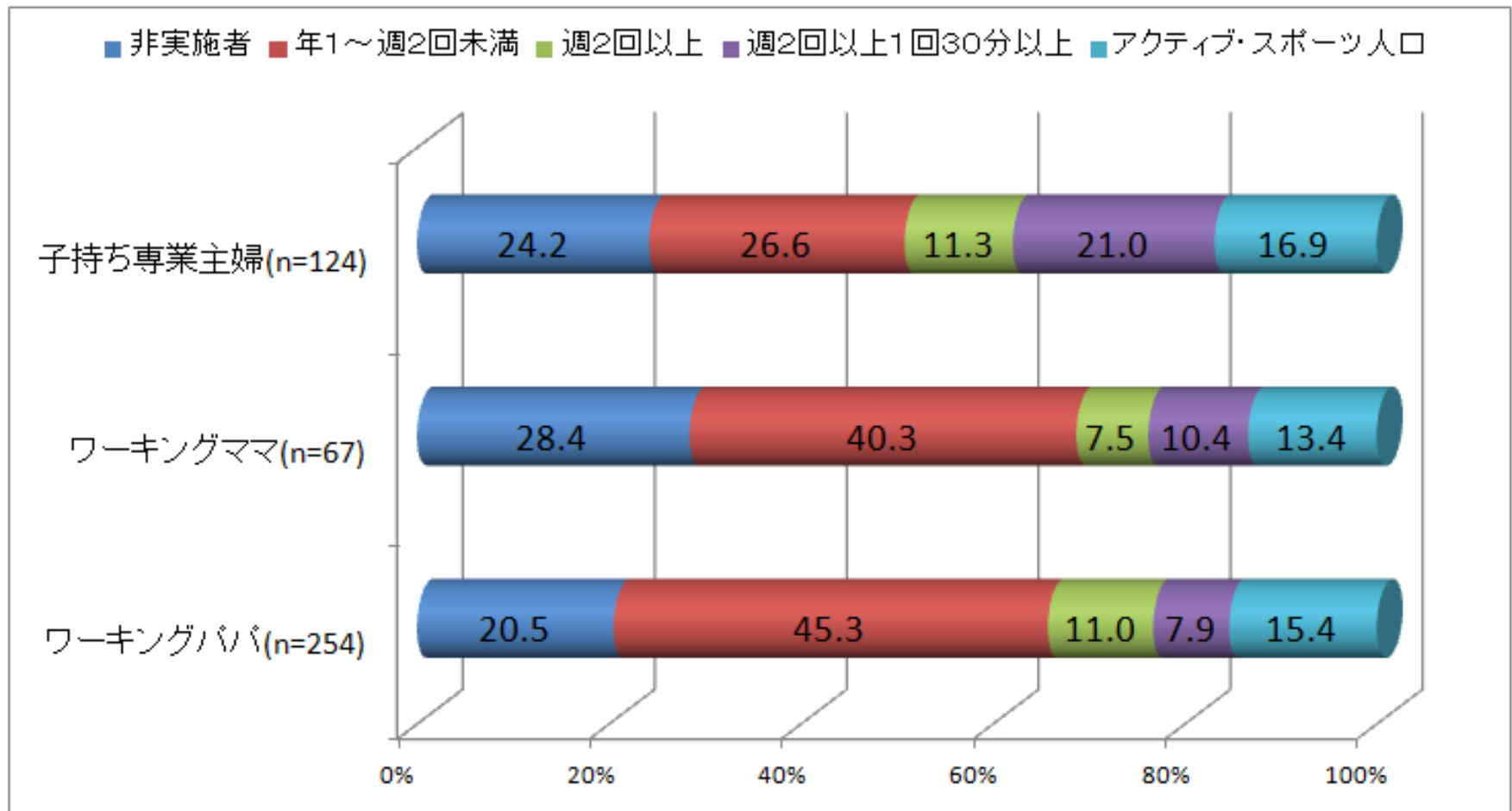
内閣府「体力・スポーツに関する世論調査」



出典: 笹川スポーツ財団「スポーツ白書」2010より作成

仕事・育児と運動・スポーツ

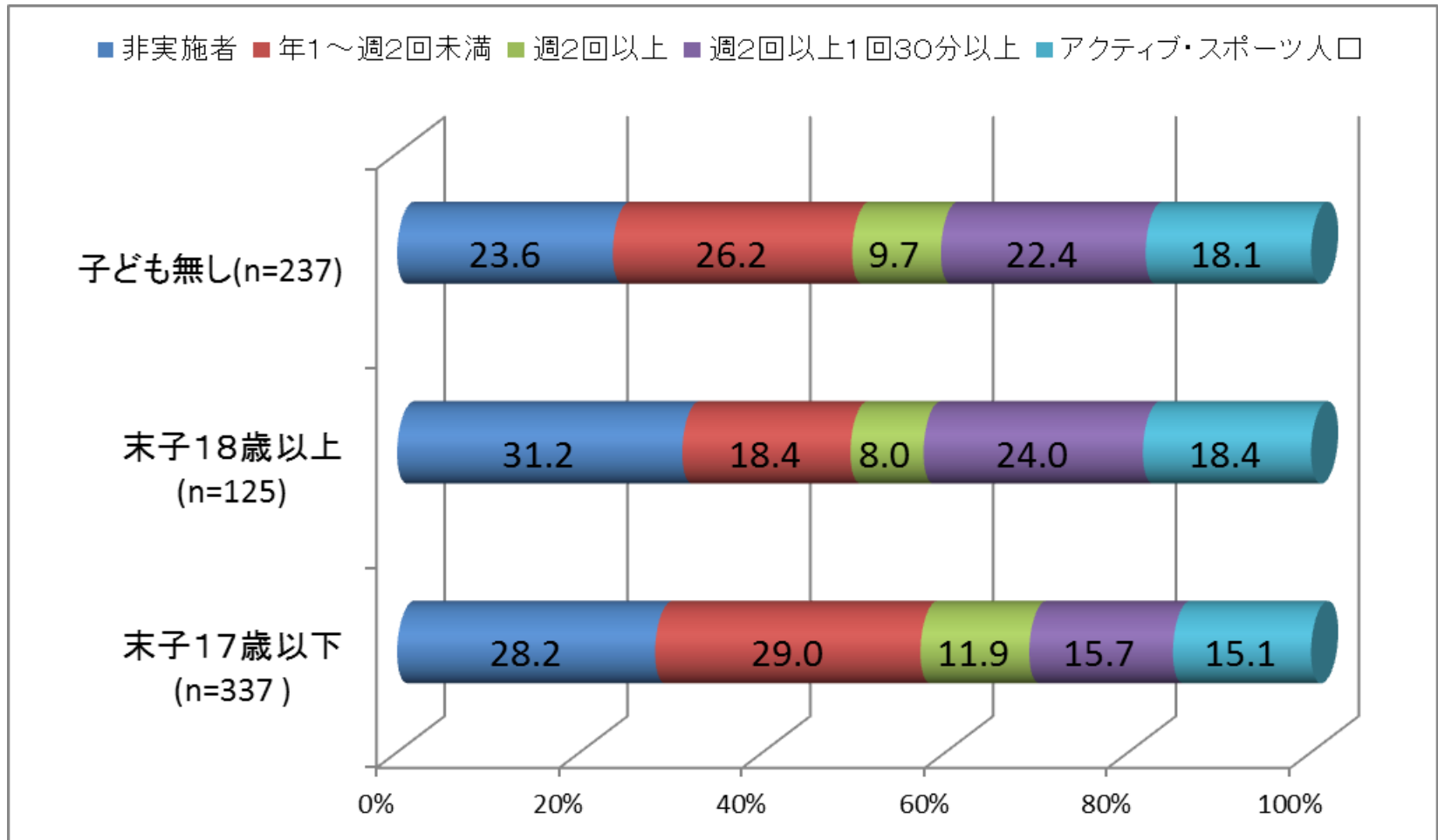
実施状況(末子17歳以下)



※アクティブ・スポーツ人口 : 週2回以上、1回30分以上、運動強度「ややきつい」以上

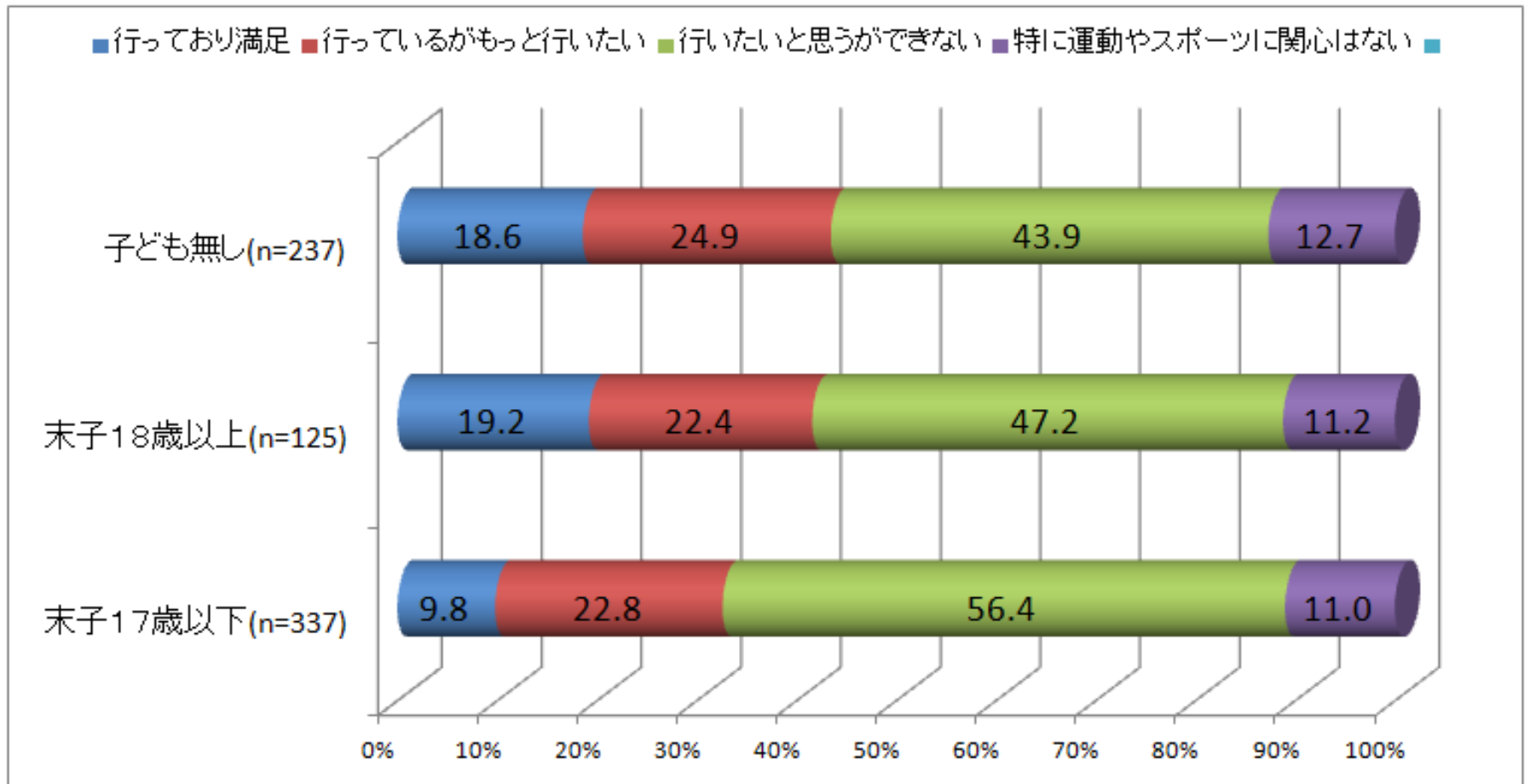
出典: 笹川スポーツ財団「スポーツライフ・データ2008」より作成

女性の運動・スポーツ実施率の状況 子どもの有無等(20~59歳)



出典: 笹川スポーツ財団「スポーツライフ・データ2008」より作成

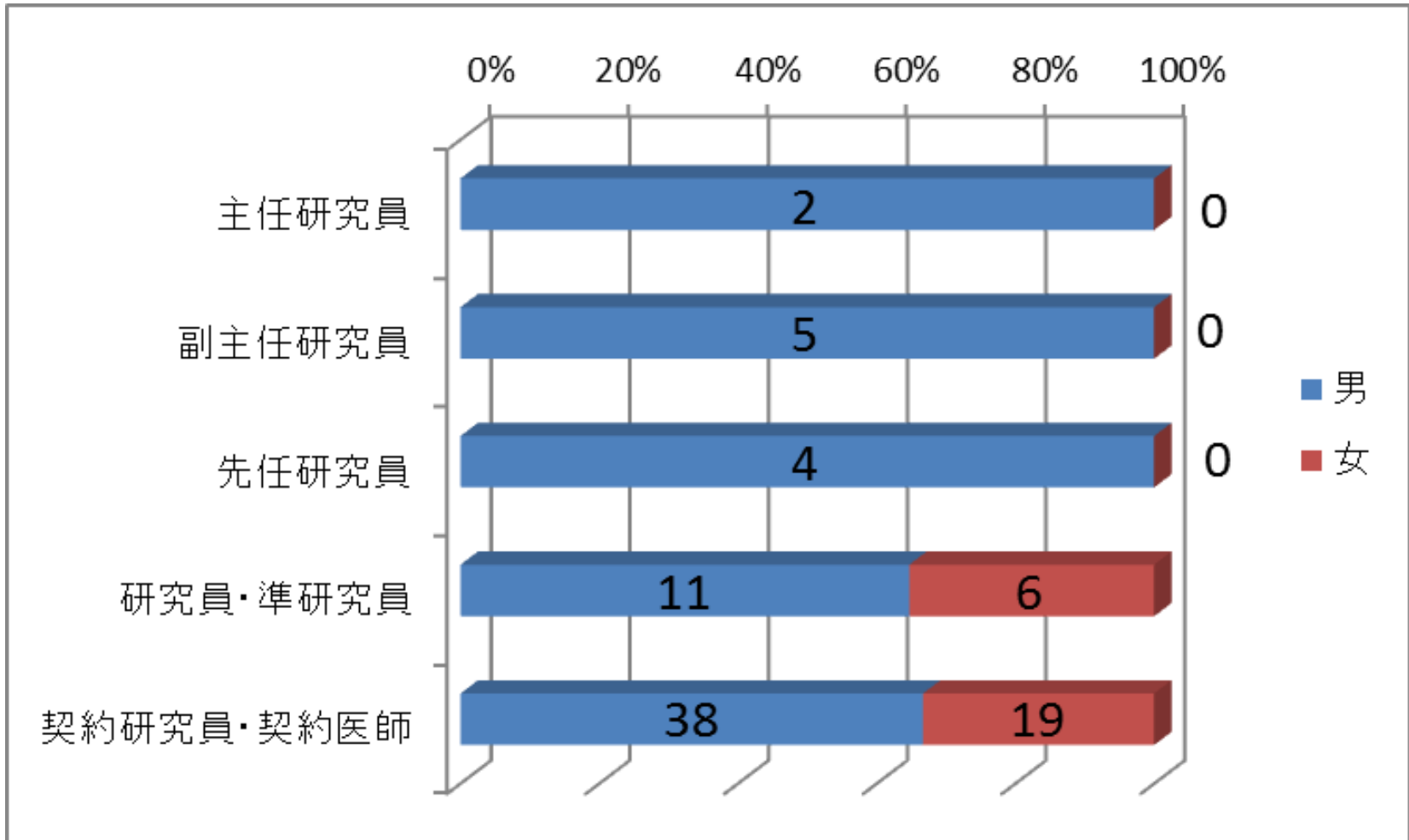
女性の運動・スポーツ実施の満足状況 子どもの有無等(20~59歳の女性)



出典: 笹川スポーツ財団「スポーツライフ・データ2008」より作成

女性研究者の現状

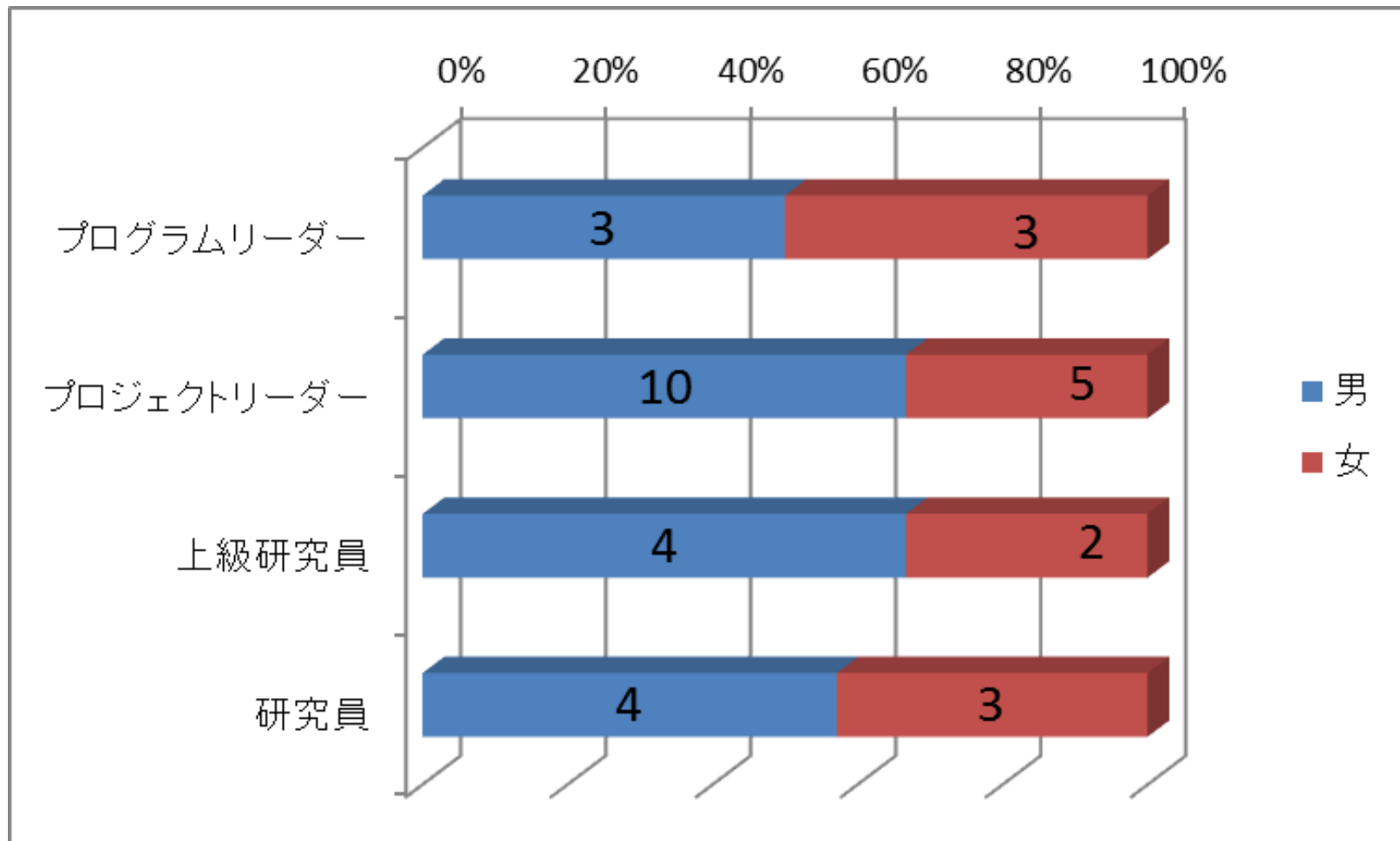
研究機関の男女比：国立スポーツ科学センター



出典：日本スポーツとジェンダー学会「スポーツ・ジェンダー：データブック2010」

女性研究者の現状

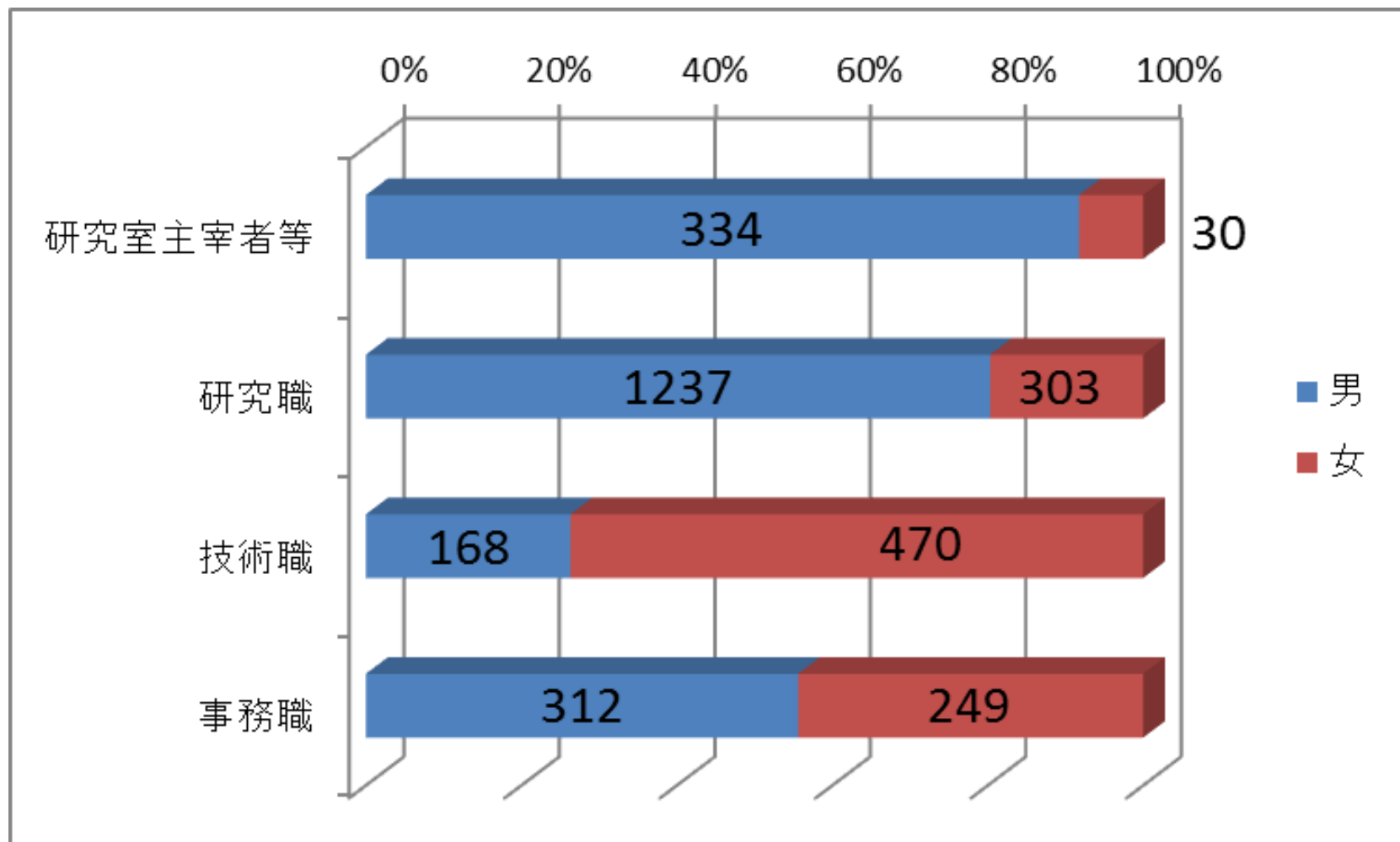
研究機関の男女比：国立健康・栄養研究所



出典：日本スポーツとジェンダー学会「スポーツ・ジェンダー：データブック2010」

女性研究者の現状

研究機関の男女比：理化学研究所



出典：日本スポーツとジェンダー学会「スポーツ・ジェンダー：データブック2010」

働き続けるための必要な支援・環境

日本労働組合総連合会調べ

(2011年4-5月、ネットリサーチ、18-59歳男女1,000人)

●全体 n=1,000

「必要とされている、期待されているなど、
仕事にやりがいを感じられる」 64.4%

「自分の能力や技術を高められる」 36.7%

「休暇をとりやすい」 34.6%

働き続けるための必要な支援・環境

日本労働組合総連合会調べ

(2011年4-5月、ネットリサーチ、18-59歳男女1,000人)

● 女性 n=500 ● 男性 n=500

「配偶者の協力」

19.0%

7.6%

「育児休業など、子育てとの
両立支援制度を利用しや
すい雰囲気がある」

19.0%

4.8%

「育児休業など、子育てと仕事の
両立を支援する制度がある」

17.6%

5.6%

仕事をやめたきっかけ

日本労働組合総連合会調べ

(2011年4-5月、ネットリサーチ、18-59歳男女1,000人)

	● 女性 n=409	● 男性 n=272
「結婚」	32.3%	2.2%
「職場の人間関係」	26.7%	28.3%
「自身・配偶者の妊娠」	14.4%	1.1%
「自身・配偶者の出産」	10.5%	0.7%
「子育て」	6.6%	0.4%
「介護」	3.4%	1.8%
「その他の理由」	31.8%	69.5%

日本体育学会 託児所の開設

- 1997年 新潟大学 長男1歳、民間一時保育
- 1998年 愛媛大学 長男2歳、民間一時保育
- 1999年 東京大学 (自宅の保育園へ)
- 2000年 奈良女子大学 (不参加)
- 2001年 北海道大学 長男5歳、民間一時保育
- 2002年 埼玉大学 長男6歳・次男2歳 学会託児所
- 2003年 熊本大学 長男7歳・次男3歳 学会託児所
- 2004年 信州大学 長男8歳・次男4歳 学会託児所



ご清聴ありがとうございました

SPORT FOR
**every
one**